

#NURSESFORPEACE



ICN #NursesForPeace - キャンペーン最新情報 No.1

(2022年3月18日発表)

ウクライナへの侵攻から3週間が経過し、ウクライナの人々や看護師、保健医療システムに壊滅的な影響を及ぼしていることは、誰もが知るところです。侵略によって、女性や子どもが大半を占める300万人以上の人々が国外への避難を余儀なくされ、世界の平和が危険にさらされています。

ICN パメラ・シプリアーノ会長は次のように述べています。「今も続く壊滅的なパンデミックの最中にこの紛争が起き、私たちは今、危険で恐ろしい時代に生きています。世界中の看護師は今もCOVIDの最前線で戦っており、保健医療システムは脆弱な状態にあります。世界が最も避けたいことは、私たち全員が大切にしている平和的共存を脅かす戦争です。ストレスや疲労が続いているにもかかわらず、看護師はあらゆる場所で患者やコミュニティのためにできることを続けています。そして、彼らがウクライナ国内および近隣諸国のウクライナ難民のケアに深く関わっているのを見て、感動しています。」

国際看護師協会（ICN）は、看護師が連帯を表明し、敵対行為の終結を求める私たちの呼びかけを支持し、ウクライナ人道基金に寄付できるようにするために、3月3日に#NursesForPeaceキャンペーンを開始しました。

このキャンペーンに対して、世界中の看護職から強い反響がありました。ソーシャルメディアでキャンペーンの画像を使用したり、ICNやウクライナの看護師や人々にメッセージを送るなどして、連帯と支援を表明しています。今後も支援が続くことを示すために、この活動を続けていただければ幸いです。

ICNは停戦を求め続けており、オンライン署名には、世界中の40万人以上の看護師を代表する各国看護師協会（NNAs）やその他の団体を含め、約2,500人の署名が寄せられています。侵略開始当初、私たちは国際法に沿って保健医療施設と職員の保護を求めましたが、3月9日のマリウポリの産科病院への恐ろしい爆撃などの攻撃を目にし、衝撃と震撼を覚えました。

ICNは、個人の看護師、NNAs、および世界中の看護団体から驚異的な支援を受け、その多くがICN人道基金に惜しみない寄付をしてくださったことに感謝いたします。特に、台湾看護師協会とデンマーク看護師協会からは、ICNのプログラムと人道基金の継続的な支援を受けており、今回も非常に大きな寄付をいただきました。私たちの目標は、ウクライナの現場の看護師たちに確実に資金を届けることであり、信頼できるパートナーとの緊密な関係を通じてそれを達成することです。ICNは本日、ウクライナ看護師協会に最初の寄付を行い、食料や医療品など看護師にとって基本的な必

需品を提供しました。

すでに寄せられた寄付金により、ICN 人道基金は 10 万スイスフランに達し、今後、多くの寄付金提供により、その総額は大幅に増加することが予想されます。その中で、多くのウクライナ人が移住し、同国と密接な関係を持つカナダのサスカチュワン看護師組合 (SUN) が、非常に寛大な寄付を表明しています。SUN の Tracy Zambory 会長は、「SUN のメンバーはウクライナと深く、強いつながりを持っており、私たちの患者の多くも同様です。私たちは、この紛争とこれからの困難な時代に重要な役割を担う仲間の看護師を助けるために、できることをしなければならないと感じています」と述べています。また、スペイン看護協会 (CGE) は、ウクライナへの看護師の寄付を ICN 人道基金に送るための口座を開設しました。

最初の 2 週間で、#NursesForPeace ソーシャルメディアキャンペーンは約 1 億人にリーチし、ソーシャルメディア上で約 70 万件のインタラクションがありました。Facebook フレームは、1 万人以上に利用されています。

私たちはウクライナの看護師と定期的に連絡を取り合っています。彼らは、施設に対する攻撃について話し、食料や衣類、ベッドリネン、衛生用品、医薬品、インスリンや抗生物質、創傷被覆材、止血帯などの医療用品といった必需品がどうしても必要なことを伝えています。

私たちは、ウクライナ看護師協会と協力して、資金や援助がウクライナに届き、看護師の手に渡るよう積極的に働きかけ、この支援が看護師のウェルビーイングや患者のケアに最大限の効果を発揮できるよう努力しています。

また、ポーランド、モルドバ、ルーマニア、ハンガリー、スロバキアなど、女性や子どもが大半を占める難民を最も多く受け入れている周辺国の NNAs とも緊密に連絡を取り合っています。これらの国々の看護師と NNAs は、難民の緊急な健康ニーズへの対応や、長期的な症状を抱える人々への専門的なサービスの紹介など、展開する人道危機への対応に多大な貢献をしています。

難民の中には、働きながら家族を養えるよう、特別な支援を必要とする看護師がいます。現在、近隣諸国の NNAs が行なっている救援活動の一環として、このテーマに関する具体的な取り組みについて、これらの NNAs と共に検討しています。これは、欧州看護師連合や各国看護師・助産師協会欧州フォーラムの仲間とも協力して行っています。

ICN ハワード・カットン事務局長は、次のように述べています。「私たちは、ウクライナの看護師や看護ケアに直接、あるいはできる限り近いところで支援を行おうとしており、即応性が重要であると認識しています。同様に、私たちは今後数週間、数カ月にわたって支援を行っていきたいと考えています。

ICN は、敵対行為の即時停止を求め続け、危険にさらされている看護師を保護・支援し、保健医療への安全なアクセスを確保し、必要とされる場所で人道支援を提供するよう常に行動していきます。

120 年以上にわたり、ICN は世界の看護職の団結のために活動してきました。平和と健康は不可分であるため、私たち全員が望む平和をもたらすために、できることは何でも行なっていきます。」

(和訳：日本看護協会)